



大分市立  
鴛野小学校  
学校だより

# 鴛野小通信

令和2年  
6月24日(水)  
NO. 10  
発行者: 板井勝博



## 6年生ありがとう

先週の15日から17日はとても蒸し暑い日でした。梅雨とは思えない照りつける太陽の下で元気に遊ぶ子どもたちを見ていると、ところどころに座り込んで草取りをしている子どもがいることに気が付きました。6年生です。なぜ？

今年は例年になく運動場に草が生えています。三ヶ月の臨時休業の間、子どもたちが運動場を走り回らなかったのが原因かと思われます。

アチコチにポツポツと生える雑草を見るに見かねた教頭先生が、空いた時間を使って少しずつ草取りをしていてくれました。その姿を見た6年生が自主的に休み時間を使って草を取ってくれるようになったのです。その内に他の学年も6年生と一緒に草取りをしてくれるようになったのです。

6年生の行動は最高学年らしい立派な行動だと思います。6年生ありがとう。これからも鴛野小学校のリーダーとしてがんばってください。

(炎天下の草取りは熱中症が心配されます。曇りの日や気温の少し低い日にするなど気を付けてくださいね。)



## 謎の白い花が満開

鴛野小学校の運動場は建設時に山を切り開いて造成したのでしょうか、運動場の東側は崖になっています。もちろんコンクリートで固めていますので安全です。崖の途中には段があり、階段状になっています。その段の途中に同じ種類の木が10本ほど生えている(植えられている?)のです。今、その木に白い花が一斉に咲いています。いったい何の木なのでしょう？気になっていました。遠目にはわかりません。

そこで、家から双眼鏡を持ってきて崖の真下からじっくり見ることにしました。葉の形や花の付き方はわかったものの詳細はわかりません。こうなれば最後の手段は葉です。運動場と崖の境目には幅3センチ、長さ12センチほどの細長い特徴的な葉がたくさん落ちていました。樹木図鑑で調べてみると謎の木はキョウチクトウということがわかりました。

木の種類がわかって一件落着ですがキョウチクトウは植えたものが自然に生えたものか謎が残りました。歴代の卒業アルバムをめくって調べて見ようと思います。



キョウチクトウの花

## 福山通運様からマスクをいただきました

19日(金)に福山通運様から鴛野小の子どもたち用にとマスクをいただきました。職員の皆様が善意で提供して下さったものとのことです。ありがとうございました。大切に使用させていただきます。



ちょうど3年生が体育をしているところです。

# カラムシから繊維を取ってみた(その1)

以前から気になっていたカラムシから繊維を取ってみました。ネットの情報をもとにやってみたのですが、けっこう大変でした・・・。



6月9日に草刈りをしたときに校舎の東側に立派に成長しているカラムシを見つけました。



刈り取ったカラムシです。



中でも太いものを10本選び、葉を落としました。



皮をはぎました。手で簡単にはがせます。上が、はがした皮、下が茎です。今回使うのは上のはがした皮です。



本当は、はがした皮を清流に一晚浸けておくらしいのですが、今回はバケツに入れて一晚水に浸けておきました。



カッターで外側の皮をはがします。繊維として使うのは内側の薄く透き通った部分です。



これが外皮をはがして残った内側の皮です。カラムシ10本分でこれだけ。これを乾燥させます。



乾燥させた内皮をより細かく割っていきます。これでやっと繊維といった感じになりました。

カラムシ10本でわずかこれだけの繊維しか取れませんでした。一枚の布にするには一体何本のカラムシが必要なのでしょううか。

さて、次はこれを編んで糸にしなければなりません。面倒な作業になりそうです。

